

龍谷大学 政策学部 伏見区投票率向上プロジェクト

平成28年3月25日 京都市会
市会改革推進委員会 報告資料

報告者

- ・ 深尾 拓史(代表・龍谷大学政策学部政策学科3回生)
- ・ 平田 佳佑(副代表・龍谷大学政策学部政策学科2回生)
- ・ 大山 剛史(龍谷大学政策学部政策学科3回生)
- ・ 松森 雄一郎(龍谷大学政策学部政策学科2回生)

報告の内容

①活動紹介

1. わたしたちの課題意識
2. わたしたちの活動

②ご提案したい企画

1. 議会ツアー
2. わかもの意見交換会
3. 大学内期日前投票所の設置

③総括

④意見交換

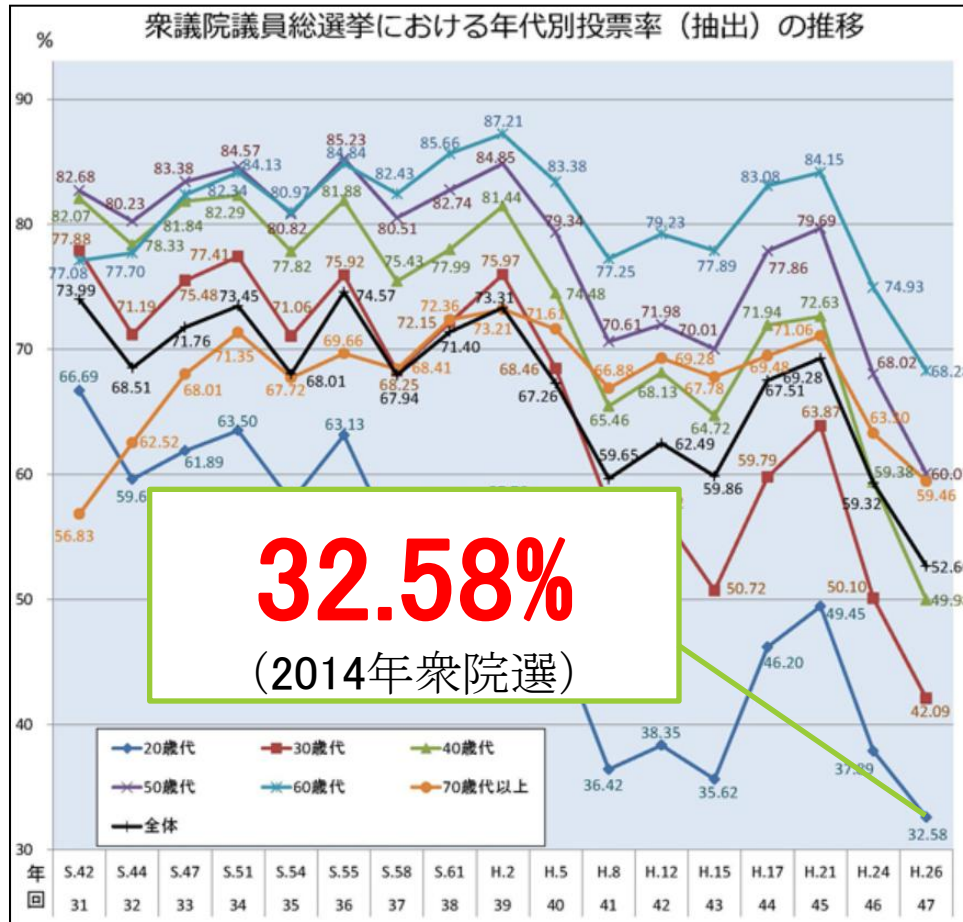


① 活動紹介

3

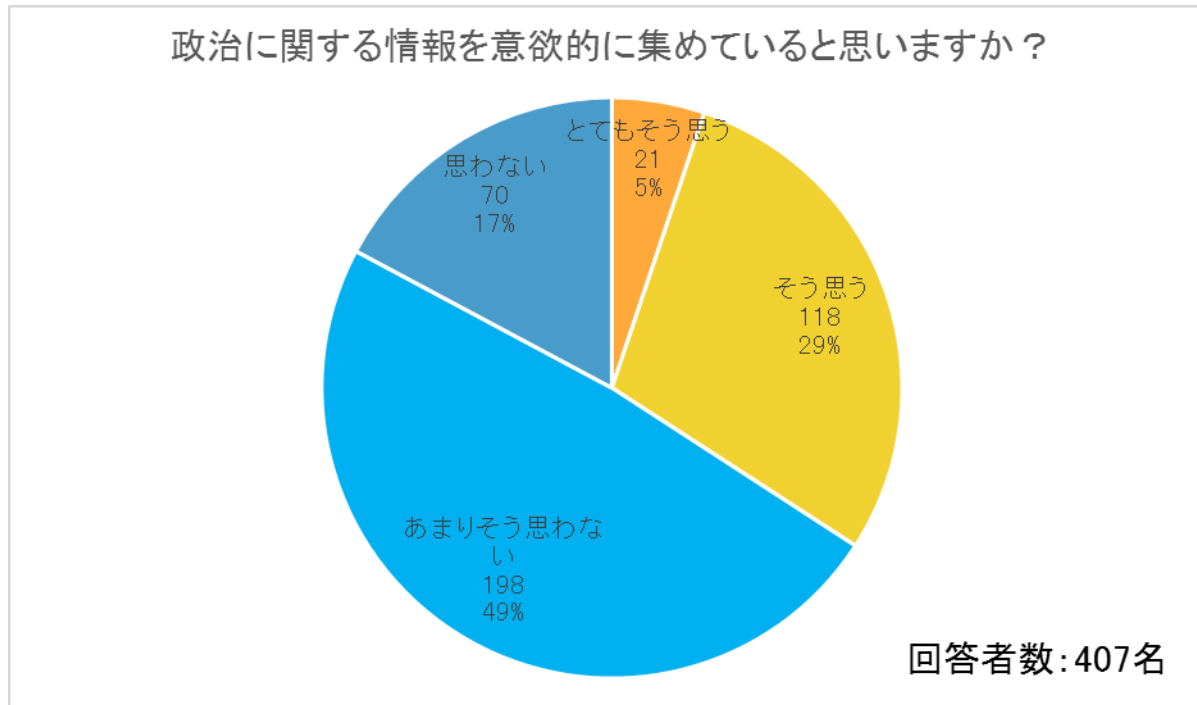
1. わたしたちの課題意識
2. わたしたちの活動

①活動紹介 —1. わたしたちの課題意識 投票率の低下、とくに若者の投票率の低下



総務省ホームページhttp://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/nendaibetu/より

①活動紹介—1. わたしたちの課題意識 若者の政治への関心も低い



昨年度当団体が龍谷大学政策学部生に対して行ったアンケート調査より



① 活動紹介

6

1. わたしたちの課題意識
2. わたしたちの活動

①活動紹介—2. わたしたちの活動

2013(平成25)年度 RYU-SEN@伏見区

- 2014年4月の京都府知事選挙での投票率向上を目指し、有志の学生で結成された団体「Ryu-SEN@伏見区」として設立

月	活動
3月	京都府立大学、立命館大学作成のフラッシュモブ撮影協力
3月～4月	Facebookページを用いたメッセージボード企画
4月	大手筋商店街にてフラッシュモブを実施



①活動紹介ー2. わたしたちの活動 伏見区投票率向上プロジェクトFacebookページ



<https://www.facebook.com/Ryu.SEN.fushimiku>



①活動紹介—2. わたしたちの活動 2014(平成26)年度

- 龍谷大学政策学部のパブリック・ラーニング(PBL)科目、『政策実践・探究演習』のプロジェクトの1つに

月	活動
9月	学部生を対象にアンケートを実施
10月	学生を対象に政治に関するワークショップ
1月	「議員と話そう in 京都」開催
1月	京都市立池田小学校で模擬選挙を実施



①活動紹介—2. わたしたちの活動 2015(平成27)年度

月	活動
5月	議員インタビュー
6月	『政策学入門(政治学)』(石田徹 教授)での特別講義
1月	京都市長選挙における啓発活動支援事業 「選挙を語ろう in 町家 ～求ム！みんなの知恵～」



①活動紹介—2. わたしたちの活動 発見

○ 2014年度に実施した『議員と話そう in 京都』

● 議員さんとの交流

- 議員さんとは普段接する機会がなかった
- 議員さんとの議論でまちの姿を新たな視点で見ることができた
- 議員さんの実像にふれることで、議会や政治が身近に感じられた



議会・議員さんという存在を通じた、
若者の政治関心・投票率の向上ができるのでは？
そのことで、議会の姿を広く伝えることができるのでは？



② ご提案したい企画

12

1. 議会ツアー
2. わかもの意見交換会
3. 大学内期日前投票所

②ご提案したい企画—1. 議会ツアー 実施概要

- 対象者

大学生10～20人を予定(公募制)

- 開催したい時期

大学の長期休暇期間中(8月初～9月中旬、1月末～3月)で、委員会等で議論を傍聴し、議員さんと意見交換できる機会があれば望ましいが、要検討

- 場所

京都市会

②ご提案したい企画—1. 議会ツアー— 本企画の目的・意義

- 政治に興味がない若者に政治を身近に感じてもらい、市政への関心、投票率の向上につなげる
- 目的
 - 議会がどういったことをしているのかを知ってもらう
 - 市会の雰囲気、歴史を知ってもらう
 - 議員さんと若者が交流できる機会を設ける
- 意義
 - 学生が目線からあまり政治に触れてこなかった若者が気軽に参加できるよう企画する
 - 議論の場である委員会の傍聴をさせてもらう

②ご提案したい企画—1. 議会ツアー 内容

○ 当日のプログラム

プログラム	時間
本会議場、議員控室の見学、議会の歴史	20～30分
委員会の傍聴	—
意見交換会	40～50分

○ 分担

- 当団体…参加学生の募集、意見交換会のファシリテーター
- 市会…議会内の案内、説明



② ご提案したい企画

16

1. 議会ツアー
2. わかもの意見交換会
3. 大学内期日前投票所

②ご提案したい企画—2. わかもの意見交換会 実施概要

○ 対象者

18歳～24歳の市民を選挙人名簿から無作為抽出

20名の参加を想定する

- ※ 1人暮らしの学生は京都市内に居住していても、名簿に載っていない場合がある
- ※ 参加率の予想が難しい

○ 時期

5月市会閉会後の6月中の土曜日の午後、
あるいは11月市会閉会後の12月中旬の土曜日の午後

○ 場所

京都市会、もしくは龍谷大学

②ご提案したい企画—2. わかもの意見交換会 本企画の目的・意義

- 多様な若者に意見を言える場を提供
- 議会が無作為抽出で選ばれた人々との意見交換会を行った例はほとんどない
- 参加してもらおう方々に対し、政治に参加する選挙という方法に対する興味・関心の向上を図る
- 議会が主催するため、市政の課題を広範に対象とすることができる
- 大学のまち・京都だからこそできる取り組みである。

②ご提案したい企画—2. わかもの意見交換会 内容

○ 土曜日の午後の半日でこれらの内容を行う

① グループディカッション

- ポストイットに意見を書いて可視化して残し、それにより論点を明確化し、議論を深めやすくする方法(KJ法)を用いる。
 - 多様な意見を可視化し、議会や議員の方々に伝えていく
 - 意見を可視化することで、少数意見も大事に扱うことができる
- PJメンバーが中心となりファシリテーターを構成し、責任をもって対応する。
- 議員の方々には、各常任委員会から2～3名を選出し、グループに属し、学生と議論していただく。
- それ以外の議員の方々は、コメンテーターとして議論の様子を見てもらうものとさせていただきます。

② 各グループごとに意見の発表を行い、議論を共有する

③ それぞれの意見に対し、議員の方々のお考えをお伺いする

④ 市民の方の質問の時間を設け、議員の方に答えていただく

②ご提案したい企画—2. わかもの意見交換会 意見交換のテーマ

- 京都市政について(各常任委員会からの問いかけなど)
- 若者の政治参加はどうしたら可能になるか
- 投票率向上のための方策

- 参加者が話しやすくなるよう、具体的な問いかけ方については、検討を重ねていく





② ご提案したい企画

21

1. 議会ツアー
2. わかもの意見交換会
3. 大学内期日前投票所

②ご提案したい企画—3. 大学内期日前投票所 全国の事例

- 平成28年3月時点で、全国で11市、14校に設置(別表1を参照)
- 今夏参議院選挙から設置予定の自治体、学校もあわせると、28市町、27大学、2高校で設置予定
 - 政令指定市でも千葉市、横浜市が今夏からの実施を決定
- 『大学のまち・京都』として先進的な取組を

②ご提案したい企画—3. 大学内期日前投票所 設置に向けての声

○ 当プロジェクトでの検討

- 全国で最初に大学内期日前投票所を設置した松山大学の甲斐准教授に講演を依頼(2014年)
- 豊中市選挙管理委員会の野田氏からヒアリング(2015年)

○ 京都市会の委員会

- 平成27年10月決算特別委員会第1分科会
- 平成27年5月経済総務委員会(第2回)
- 平成27年3月経済総務委員会(第20回)

○ 選挙管理委員会が指摘された懸念事項

- 1大学に11区分の投票所の設置が必要
- 費用対効果も含めて慎重に検討

②ご提案したい企画—3. 大学内期日前投票所 設置することの意義

大学・学生の協力

- ・ 学生主体の運動体との連携

18歳への選挙権引き下げ

開かれた大学づくり

- ・ 龍谷大学の(大学としての)期日前投票所設置に対する意向

若者の投票への物理的距離感を近く

②ご提案したい企画—3. 大学内期日前投票所 まとめ

- 大学・学生との連携で運営される大学内・大学運営期日前投票所の実現を
 - いずれは11区、多様な大学での実施
 - モデルケースとして大学としても前向きな地域での実施を
 - 龍谷大学では、学生団体も、大学としても、期日前投票所の設置運営を希望している
- 若者の市民参加＝市の政策への提案として、請願を検討中

The slide features a dark teal background with a vertical gradient of lighter teal and white stripes on the left side. Several green circles of varying sizes are scattered on the left, with the largest one at the top left. The text '③総括' is positioned to the right of these circles.

③総括

26

③総括

今回の提案のコンセプト

- ① 議会だからできる、学生の目線でできる企画を計画する
- ② 京都市のことを「議論して決める」議決機関の現場を見る、ふれる、話す
- ③ 若者が気軽に参加できるようにする

③総括

今回の提案の背景

- ① これまで、議会と若者の関係は近いものではなかった
 - 本会議を傍聴したが、議論の迫力を実感できなかった
 - しかし、意見交換会や委員会の様子は、魅力的だった。
 - 「議論して決める」が見える(議決機関)場所は議会だけ。
なにがどのように議論されているのかにふれると、政治への関心や投票への意識が高まるのでは。
- ② 市会の本会議場などの歴史的・建築的重要性・建築的特徴を知ってほしい
- ③ 大学のまち・京都だからこそできる議会と学生の取り組み

③総括

今回の提案のまとめ①

● では、なぜこの3つの提案なのか…

① 議会ツアー

→市会の歴史や建物にふれ、「議論して決める」議決機関として委員会等を傍聴でき、(可能であれば)意見交換もできる。気軽に参加することができる機会

② わかもの意見交換会

→若者と市政の課題を広範に議論ができる

③ 学内期日前投票所

→意義もあるが、懸念も指摘され、進んでいない。

→大学やわたしたちの声を請願として届けたい。議決機関として受け止め、応援していただきたい。



③総括

今回の提案のまとめ②


- これらを通じて…

- 京都市のことを「議論して決める」場やそれを担う人の姿を知る、ふれる、話す
- 議会、議員の考えや活動などのかっこいいところを見る



政治との距離感を近くし、
投票への動機を高める





本団体からの報告は以上です。
ご清聴ありがとうございました。